

第5学年 社会科学習指導案

指導者 3組 中島 知恵子【公開授業Ⅰ】
男子19名 女子18名 計37名
1組 菅崎 幹子【公開授業Ⅱ】
男子19名 女子17名 計36名

- 1 大単元名 工業生産を支える人々
小単元名 工業の今と未来（教育出版 5年上）

2 小単元について

(1) 児童について

これまで本学年の児童は、「食料生産を支える人々」や「自動車づくりにはげむ人々」において、資料を活用したり見学をしたりして、問題解決的な学習を行ってきた。

統計資料や実際に見学したことなどから課題を見付け、調べ学習を通して解決していくことに楽しさを感じている児童が増えてきた。また、交流する場を設定し、自分以外の考えを聞いたり、気付きを共有したりすることにより、自分の考えを深めることができる児童も多くなってきている。アンケートでも、「ペア・グループ交流は好きか」という設問に対し、93%の児童が「好き・だいたい好き」と答えている。一方で、「考えを発表することは好きか」という設問に対しては、「好き・だいたい好き」と答えた児童は70%にとどまり、資料や体験から気付いたことを、言葉や文章に表現することが困難な児童が多いことが分かる。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領の第5学年の内容(3)「我が国の工業生産について、様々な工業製品が国民生活を支えていること等を調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」を受けて設定したものである。

本小単元「工業の今と未来」は、前小単元「自動車づくりにはげむ人々」、「世界とつながる日本の工業」の学習を受け、工業生産の学習のまとめという位置付けの単元となる。日本の工業生産の特色を具体的に捉えられるようにするために、様々な種類の地図やグラフなどの資料が必要であり、資料を活用して必要な情報を読み取る力をつけることができる教材である。また、複数の資料から得た情報を関連付けたり、全体的な傾向を捉えたりすることで、社会的事象を多面的に捉えながら学習を進めることが期待できる教材でもある。

(3) 指導について

本校の高学年で付けたい力は、「根拠を示しながら、比較・関連・総合して考え、自分の考えを表現できる力」「話し合いや討論を通して考えを深め、多面的に考える力」である。本単元は、「工業を支える人々」のまとめの小単元でもあるため、根拠となる資料を大単元全体から選択し活用できるよう、単元を通じた資料掲示をしたり画像データを画面に映したりして、全体交流ではそれらを示しながら説明をさせたい。また、教科書の資料と実際に見学した北上市近郊の工場を比較・関連して考えさせ、工業生産をより身近なものとして捉え、社会的視野を広げたい。

交流活動では、児童同士が交流を通して自分の考えを深められるようにしたい。交流を活性化するために、自分の立場をAかBか選択したり、いくつかの選択肢をランキングしたりして、交流に葛藤が生まれるようにする。自分の立場を主張したり、それぞれの考えを比較・関連付けをしながら聞いたりして、討論的な交流を展開させ自分の考えを深めさせたい。また、ペア・グループでの交流を通して、根拠となる資料を的確に選んだり自分の考えの妥当性を検討したりして、自信をもって全体交流に参加できるようにする。全体交流では、グループの交流が一目で分かるように、ホワイトボードの書き方をモデル化したり色分けをしたりして工夫し、それぞれの考えを分類したり関連付けたりして、問題解決に向けて集団思考をさせる。学習問題に協動的に取り組んでいることを意識付け、他者の考えにも共感的になったり、多様な考えに触れたりすることで、社会的事象を多面的に捉える力を養いたい。

3 小単元の目標

- (1) 盛んな工業の種類や工業地域、大工場と中小工場のそれぞれの生産の様子など、日本の工業の特色を捉えさせる。
- (2) 高い技術やアイデアを生かし、心の豊かさをもたらす工業生産が進められていることを捉えさせるとともに、これからの工業生産について考えさせる。

4 小単元の評価規準

【社会事象への関心・意欲・態度】

- (1) 私たちの生活が様々な種類の工業製品に支えられていることに気付き、日本の工業生産の特色について、興味をもって調べようとしている。

【社会的な思考・判断・表現】

- (1) 海沿いや一部の内陸部で工業生産が盛んな理由について、土地の条件や交通網の発達と関連付けて考え、表現している。また、工業生産と人々の生活を関連付けて、工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、表現している。

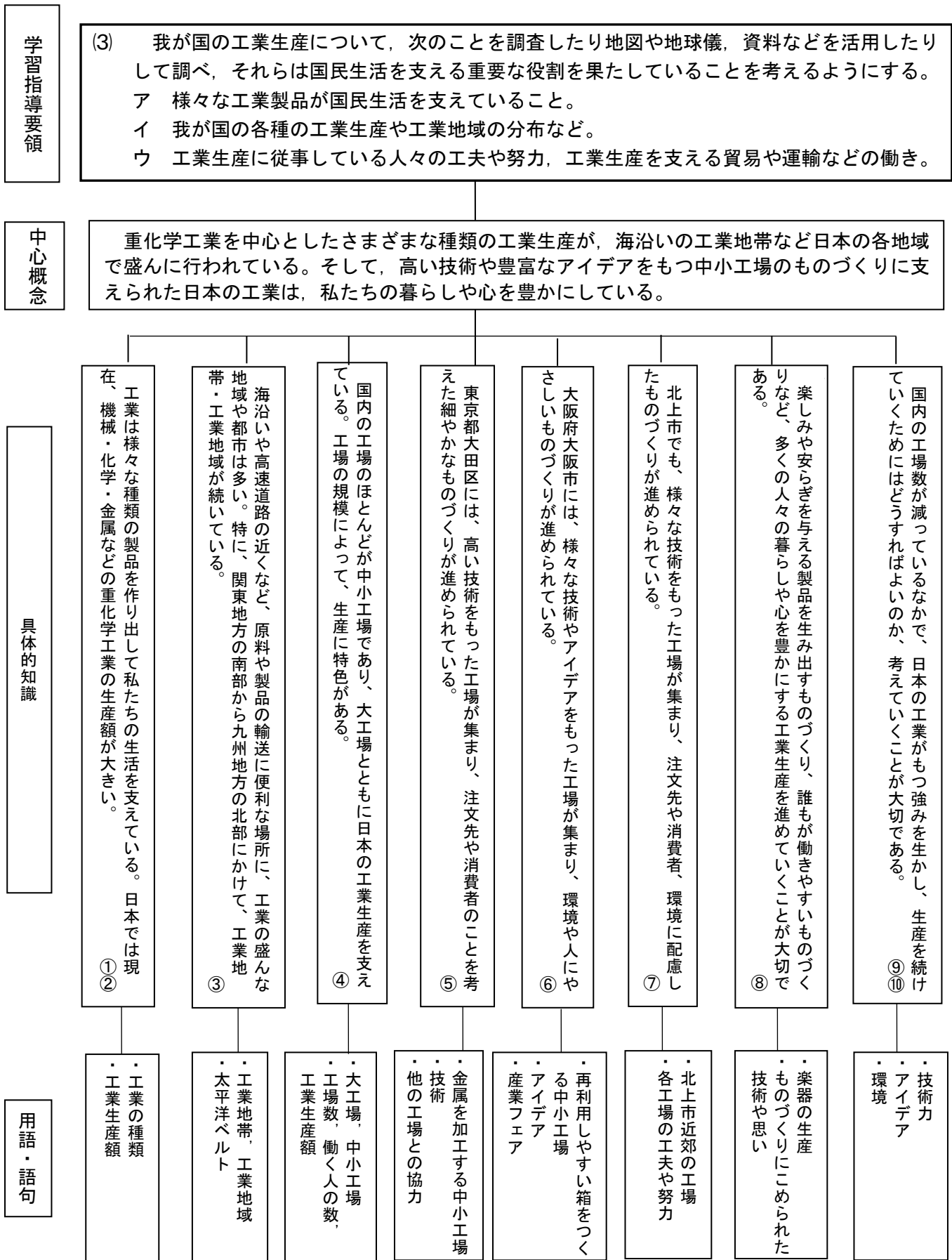
【観察・資料活用の技能】

- (1) 大工場や中小工場の特色について、資料から読み取ったことをノートにまとめている。また、高い技術を生かしてもものづくりをする中小工場の工夫や努力について、必要な情報を資料から読み取り、ノートにまとめている。

【社会的事象についての知識・理解】

- (1) 工業が盛んな地域の分布や、生産の割合が大きい工業の種類、日本の工業生産を支える中小工場の優れたものづくりなど、日本の工業の特色を捉えている。また、工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

5 知識の構造図



6 学習指導計画 (全10時間)

		主な学習活動	評価規準
第一次 つかむ	1	(1) 工業製品の仲間分けをしたり、日本の工業生産額の変化を読み取ったりして、日本の工業について分かったことや疑問を交流し、学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">日本の工業生産にはどのような特色があり、これからどのように進めていけばよいのだろう。</div>	【関】 生活が様々な種類の工業生産に支えられていることに気付き、日本の工業生産の特色について、興味をもって調べようとしている。
	2	(1) 学習問題に対する予想を交流し、学習計画を立てる。	【思】 日本の工業生産の特色と今後のあり方について調べる学習問題を考え、表現している。
第二次 調べる	3	(1) 工業の盛んな地域とそれぞれの地域の特色を地図や統計資料などから読み取り、盛んな地域の分布について考え、交流する。	【思】 海沿いや一部の内陸部で工業生産が盛んな理由について、土地の条件や交通網の発達と関連付けて考え、表現している。
	4	(1) 大工場と中小工場の生産の特色について、写真や統計資料などから読み取り、まとめる。 【5年3組公開授業Ⅰ】	【知】 工業が盛んな地域の分布や、生産の割合が大きい工業の種類などを捉えている。
	5	(1) 写真や働く人の話などを通して、大田区や中小工場のものづくりの様子を調べ、中小工場の工夫や努力について交流する。	【技】 大工場や中小工場の特色について、資料から読み取ったことをまとめている。
	6	(1) 写真や働く人の話などを通して、東大阪市の中小工場のものづくりの様子を調べ、大田区のものづくりとも比べながら、気付いたことを交流する。	【技】 高い技術を生かしてもものづくりをする中小工場の工夫や努力について、必要な情報を資料から読み取り、まとめている。
	7	(1) 工場見学の際の資料や、作成した見学新聞を活用して、北上市や西和賀町、金ヶ崎町の中小工場のものづくりの様子を調べ、大田区や東大阪市のものづくりとも比べながら、気付いたことを交流する。	【知】 日本の工業生産は、多くの中小工場の優れたものづくりによって支えられていることを捉える。
第三次 まとめる ・ 深める	8	(1) 心を豊かにする工業生産について、具体的な製品の例をもとに、工業生産が人々の生活に果たす役割や意味について交流し、日本の工業が目指すものづくりについて考えをまとめる。	【知】 工業生産は国民生活を支え重要な役割を果たしていることを理解している。
	9	(1) 日本の工場数の減少をグラフから読み取り、日本の工業生産が抱える困難さをこれまでの学習をもとに交流し、これからの工業生産にとって大切なことを考える。	【思】 工業生産と人々の生活を関連付けながら、工業生産が国民生活に果たす役割や今後目指していく工業生産のあり方について考え、表現している。
	10	(1) これからの工業生産について考えたことを発表し合い、まとめる。 【5年1組公開授業Ⅱ】	【関】 学習したことをもとに、これからの日本の工業生産にとって大切なことは何か、関心をもって考えようとしている。 【思】 これからの日本の工業生産にとって大切なことは何かについて、これまでの学習を根拠として、自分の考えをまとめている。

7-1 本時の指導（4/10時間）

【5年3組公開授業Ⅰ】

(1) 目標

日本の工業における大工場と中小工場の生産の様子を資料から読み取り、それぞれの生産の特色と役割について考え、まとめることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	大工場や中小工場の特色について、資料から読み取ったことをノートや教科書にまとめている。 【観察・資料活用の技術】	考えの根拠となる資料を示しながら、大工場と中小工場の役割を捉え具体的に述べている。 (例) 中小工場は、大工場に比べ工場数や働く人数が多く、優れた技術で日本の工業を支えている。	板書のキーワードや友達の考えを参考にして、大工場と中小工場の違いに着目させる。また教科書の「やってみよう」を基にしてまとめるように声掛けをする。

(3) 研究仮説に関わって

<学習問題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

本時では、児童が意欲的に考えをもちグループや全体の交流に参加できるように、まずは個々で「日本の工業を支えているのは大工場か中小工場か」を選択する。次にグループで資料を用いながら考えを交流し意見を一つにまとめる。全体交流では、立場を明確にしながら反対の考えをもつグループに質問をしたり意見を発表したりして、葛藤させながら集団思考を促す。交流する中で大工場と中小工場にはそれぞれの特色と役割があり、特に中小工場の多くが大工場の関連会社としても日本の工業を支えていることに気付かせたい。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問、◇期待する児童の反応)	指導上の留意点（・）評価（□） 交流活動（☆）
導入 5分	① 大工場と中小工場の写真を比較して、分かったことを交流する。 ○ 2枚の写真から、大工場と中小工場の様子を比較し、気が付いたことをグループで交流しましょう。 ◇ 大工場は面積が広く中小工場は狭いです。 ◇ 大工場では大勢の人が働き、中小工場は少人数で働いています。 ◇ 大工場では、たくさんの人がラインで大量に生産し、中小工場では少ない人数で製品をつくっています。	・ 教科書のキーワードから、大工場と中小工場の区分を確認する。 ☆ 2枚の写真や社会科見学の感想を基に、気が付いたことをグループで交流する。 ・ 写真を比較するときの観点（広さ・働いている人数・製造ライン・稼働している機械やロボット等）をいくつか提示し、規模の違いや製品の違いに着目させる。 ・ 中小工場で作っている製品の性質や大きさを説明して補足し、精密な物やニーズに合ったものを少人数でつくっていることを捉えさせる。

	<p>② 本時の学習問題を確認する。</p> <p>○ 日本の工業を支えているのはどちらでしょう。</p>	
<p>展 開 3 0 分</p>	<p>③ 本時の学習活動の流れを確認する。</p> <p>④ 資料を読み取り，大工場と中小工場のそれぞれの特色を読み取る。</p> <p>○ それぞれの特色を調べるには，どんな資料があれば分かりますか。</p> <p>◇ それぞれの工場の数です。</p> <p>◇ それぞれの働く人の数です。</p> <p>◇ それぞれの生産額です。</p> <p>◇ それぞれの工場で生産しているものです。</p> <p>○ 各グラフから分かることを読み取り，大工場と中小工場の特色を発表しましょう。</p> <p>◇ 日本の工場の99.3%は，中小工場です。</p> <p>◇ 大工場は0.7%しかないのに，そこで働く人は，29%と高いです。</p> <p>◇ 大工場は0.7%しかないのに，生産額は総生産額のおよそ半分と高いです。</p> <p>◇ 中小工場は，せんい工業や食料品工業などの軽工業の生産額が高いです。</p> <p>⑤ 学級全体で交流する。</p> <p>○ 各グループの考えを基にして，全体で交流しましょう。</p> <p>◇ 大工場では一度にたくさんの人が大量に生産できる良さがあるけど，中小工場では，注文に応じて必要なものをじっくり作ることができる良さがあります。</p> <p>◇ 中小工場は大工場の関連会社も多く，お互いに影響し合っているのではないかと思います。</p>	<p>・ 「大工場」か「中小工場」か自分の考えを明確にして交流を活発にする。</p> <p>・ 学習の流れについて掲示で確認する。</p> <p>・ 資料を提示する際，児童が主体的に調べられるように，どんな資料があれば問題を解決できるか考えさせ，積極的に読み取らせる。</p> <p>☆ 読み取った資料から分かることをグループで交流し，考えを集約してホワイトボードにまとめる。</p> <p>・ 2つ以上の資料を関連付けてまとめているグループを紹介し，多面的な資料の読み取り方を価値付ける。</p> <p>・ 全部のグループに発表させるのではなく，傾向が違う2～3グループを選んで発表させる。</p> <p>☆ 他のグループの考えを比較したり関連付けたりしながら聞き合い，質問や意見を発表させる。</p> <p>・ 全体での交流を通して，大工場と中小工場にはそれぞれの特色と役割があり，特に中小工場は大工場の関連会社も多く日本の工業を支えていることに気付かせる。</p>

	<p>◇ 大工場と中小工場は、どちらも日本の工業にとって重要な役割があります。</p> <p>○ 読み取ったことを基に、日本の工業を支えているのはどちらか、グループで交流し、ホワイトボードにまとめましょう。</p> <p>◇ ㊦中小工場が日本の工業を支えている。→㊦資料㊦→㊦工場数や働く人の総数が多いから。</p> <p>◇ ㊦大工場の方が日本の工業を支えている。→㊦資料㊦→㊦工場数や働く人の総数は少ないが、工業生産額に占める割合が中小工場より高いから。</p> <p>◇ ㊦大工場の方が日本の工業を支えている。→㊦資料㊦, P 1 3 6 ㊦→㊦機械工業の生産額の割合は大工場が高く、世界に輸出しているのは大工場で生産される機械類や自動車が多いから。</p> <p>◇ ㊦どちらも日本の工業を支えている。→㊦資料㊦㊦㊦㊦, P 1 2 2→㊦どどちらにもそれぞれの役割がある。中小工場の中には大工場を支えている工場もあり、お互いになくてはならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで大工場か中小工場かを考え、意見をまとめるという目的意識をもたせることで、話し合いを活性化し、個々の考えを深めさせる。 ・ ボードには、㊦に結論を黒ペンで、㊦に根拠となる資料の記号を赤ペンで、㊦には理由を青ペンで書かせ、全体交流の場で活用できるように可視化する。 ・ 資料については、前单元「自動車づくりに はげむ人々」「世界とつながる日本の工業」の資料も活用してもよいことにし、掲示にも着目させる。
<p>終 末 1 0 分</p>	<p>⑥ 学習のまとめをする。</p> <p>○ 話し合っ て考えたことや、これまでの学習をもとに、大工場と中小工場のそれぞれの役割や特色をまとめましょう。</p> <p>◇ 大工場では、たくさんの人手や機械化で、機械類や自動車のような製品を大量に生産している。</p> <p>◇ 中小工場は、大工場に比べ工場数や働く人数が多く、大工場の関連工場も多い。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>中小工場は、優れた技術やアイデアを生かして製品づくりをしている。大工場の関連工場も多く、日本の工業を支えている。</p> </div> <p>⑦ 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>○ 今日の学習を振り返り、考えたことや友達の意見から学べたことなどを書きましょう。</p> <p>⑧ 次時の予告をする。</p>	<p>□ 大工場や中小工場の特色について、資料から読み取ったことをノートや教科書にまとめている。(ノート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の本文から、中小企業が抱える課題にも触れ、これまで学習してきた産業と同じように、努力や工夫があるのではないかと予想させ、次時につなげる。 ・ 本時の学習を自己評価や相互評価させる。

(5) 板書計画

工業の今と未来

日本の工業を支えているのは、大工場と中小工場のどちらだろう。

大工場の写真

中小工場の写真

各グループの考え

大工場 中小工場
工場が大きい⇔工場がせまい
働く人がたくさん⇔一人で仕事
一度に製品をたくさん⇔注文に合わせ製品をじっくり

グラフ

グラフ

グラフ

グラフ

大工場・・・たくさんの人と機械で、製品を大量に生産している。

中小工場・・・優れた技術で、細かい製品づくりをしている。大工場を支える関連工場も多い。

だから、日本の工業を支えているのは（ ）

7-2 本時の指導(10/10時間)

【5年1組公開授業Ⅱ】

(1) 目標

日本の工業生産が抱えている課題を捉え、これからの工業生産にとって大切なことを考えることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	<p>これからの日本の工業生産にとって大切なことは何かについて、これまで学習した資料を根拠として考え、自分の考えを記述している。</p> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p>	<p>これからの日本の工業生産にとって大切なことは何かについて、これまでの学習した資料を根拠として考え、自分の考えを記述している。</p> <p>(例)日本の工業生産をこれからも続けていくためには、日本の技術を生かし、外国ではつくることができないような質の高い製品をつくっていくことが大切だと思います。</p>	<p>板書のキーワードや友達の考えを参考にして、心に残ったことを選んでまとめるように助言する。</p>

(3) 研究仮説に関わって

<学習問題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

子供たちが、授業において主体的・対話的に交流しながら学習問題の解決に向かうためには、一人一人が根拠のある意見をもつことが前提となる。そのために、導入では前時までの学習内容と3つの方策について押さえ、それらを根拠としてランキングの発表ができるようにさせる。さらに、展開では各グループのランキングを黒板に掲示し分類・整理しながら意見を集約していく。

交流場面においてはICTを活用し資料を大型テレビに映すことにより、注目するポイントを学級全員が確認できるようにする。そして、子供たちから出された意見を可視化することにより学級全体で共有化を図っていく。

(4) 展開

段階	学習活動 (○主な発問, ◇期待する児童の反応)	指導上の留意点(・)評価(□) 交流活動(☆)
導入 5分	<p>① 前時の学習を想起する。</p> <p>○ 日本全体の工場数は、どのように変化していましたか。</p> <p>◇ 20年前からどんどん減ってきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画から、本時の活動について確認する。 ・ 前時にしぼった3つの方策について確認する。3つの方策に絞ることで、交流する内容を明確にできるようにする。

	<p>○ 前の時間はその原因や課題を考え、学習問題を立て、これらの工業生産にとって大切なことを3つにしぼりました。</p> <p>【3つの方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐれた技術を生かす。 ・環境を大切にしたい取り組みを進める。 ・外国とのつながりを大切にする。 <p>② 本時の学習問題を確認する。</p>	
<p>展 開 3 5 分</p>	<p>③ 本時の学習活動の流れを確認する。</p> <p>④ グループで交流し、3つの方策について、ランキングを考える。 自分が考えた「大切なことランキング」を伝え合う。グループの「大切なことランキング」を考える。</p> <p>○ 一人一人、根拠を基にしてランキングを発表しましょう。聞く人は、友達のランキングの根拠をしっかりと理解しましょう。次に、グループの考えをまとめて、「グループのランキング」を作りましょう。ランキングの根拠を言えるように交流しましょう。</p> <p>⑤ 学級全体で交流する。</p> <p>○ 各班が考えたランキングを伝え合しましょう。</p> <p>◇ わたしたちの班では、外国ではつくることができないような質の高い製品を多くの人に知ってもらおうことが一番大切だと考え、「技術を生かす」ことを1位にしました。自分の国のことだけではなく、相手の国のことを考えることも大切なので「外国とのつながり」を2位、「環境」を3位にしました。</p>	<p>・ 学習の流れについて掲示で確認する。</p> <p>☆ ランキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事実に基づいて発表できるように、どこからそう考えたのか、教科書に付箋を貼っておいたところを示しながら自分のランキングを発表させる。 ・ グループのランキングをまとめるという目的をもたせることで、交流を活性化させ、考えを深めさせる。 ・ 全部のグループに発表させるのではなく、ランキングの傾向が違う2～3グループを選んで発表させる。 ・ 資料を大型テレビに映し、注目するポイントを学級全員が確認できるようにすることで出された意見を共有化できるようにする。
<p>これからの日本の工業生産にとって、大切なことはなんだろう。</p>		

	<p>◇ ぼくたちの班では、環境を大切にしたい取り組みを進めることを一番に考えました。自動車づくりにはげむ人々も、中小工場でものづくりをする人々も、環境に優しい取組をしていました。地球温暖化を防ぐために、大切な取り組みだと思えます。</p> <p>◇ わたしたちの班では、外国とのつながりを大切にしていけることが大事だと考えました。なぜなら、日本は天然資源に恵まれない国なので、外国との貿易ができないと、工業製品を作るための燃料や原料が手に入らなくなるからです。</p> <p>⑥ 未来（これからの日本の工業生産）への意見文をまとめる。</p> <p>○ これまでの学習を基に、これからの日本の工業生産にとって大切なことは何かについてキーワードを用いてまとめを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他のグループの考えに対して、似ているところや違いを見つけ、それについての質問や意見を発表させる。 ・ 考えを再考させ、文章で書かせる。 □ これからの日本の工業生産にとって大切なことは何かについて、これまで学習した資料を根拠として考え、自分の考えを記述している。（ノート）
	<p>日本の工業生産の強みを生かし、質の高い製品を作ることが大切である。また、外国とのつながりを考え進めていく。</p>	
<p>終 末 5 分</p>	<p>⑦ 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>○ 今日の学習を振り返り、考えたことや友達の意見から学んだことなどを書きましょう。</p> <p>⑧ 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を自己評価、相互評価させる。

(5) 板書計画

工業の今と未来

これからの日本の工業生産にとって、大切なことはなんだろう。

日本の工場数
の変化

グラフ

【大切なこと】

- ・ すぐれた技術を生かす
- ・ 環境を大切にしながら取組を進める
- ・ 外国とのつながりを大切にする

各グループのランキング

日本の工業生産の強みを生かし、質の高い製品を作ることが大切である。また、外国とのつながりを考え進めていく。